



願う「終息」

施設長 中山 崇

立春を過ぎたあたりから、新型コロナウイルスの感染拡大がやや収まりかけましたが、今後とも十分な警戒と対策が必要です。

施設では「コロナを持ち込まない、持ち込ませない。」との強い決意で、手洗い・うがいの励行、マスクの着用、手指の消毒、定時検温、拭き取り・換気の実施などの基本的な防止対策を継続する（「備え有れどなお憂い有」の心がまえが大切：東北大学石井正教授）とともに、昨年度予定していた各種の行事の大部分を縮小し、利用者の皆さんに何とか喜んでいただくとう職員も一生懸命考え・工夫し実施することが出来ました。

こうした中でも、社会経済活動を進めつつ感染防止に努める国のGO toキャンペーンが発表されたので、例年のように近隣府県への旅行も考えたのですが、府内の日帰り旅行に変更して観光バスで旅行気分を味わってもらおうと実施しました。しかし、最後の第3班の旅行は、昨年12月初めに大阪府の医療が「緊急事態」と宣言されましたので、急遽延期になり利用者の皆さんもどうなるのか心配していましたが、緊急事態宣言が2月末日解除されましたので、3月18日に第3班が待ちに待った日帰り旅行をプレゼントすることが出来ました。みなさん大喜びでした。

さらに、不要不急な外出・移動の自粛を呼びかけられていますので、利用者のみなさんの楽しみである外食やプール、映画観賞や買い物等にも行けず、また帰宅もままならない状況に保護者の皆さんにも大変な辛抱をいただき申し訳ない限りです。

令和3年度は、PCR検査がいつでも実施され、またワクチン接種が行きわたり、施設の日常が戻ることを切に願うばかりです。



節分

「ぐわっっ！」
 と悲鳴を上げ、打ち付けられる豆に右往左往とフライパンを駆使して逃げ惑う鬼。
 「うわっ、あの鬼フライパンで豆炒めるつもりや(笑)でも、あの鬼って？」とどこか見覚えのある鬼に、皆、くすくすっ、と笑う場面も見られました(笑)
 さあ、これでコロナも大丈夫！今年も皆にたくさんの福が訪れる事を願っています。



「ぐわっっ！」
 と悲鳴を上げ、打ち付けられる豆に右往左往とフライパンを駆使して逃げ惑う鬼。
 「うわっ、あの鬼フライパンで豆炒めるつもりや(笑)でも、あの鬼って？」とどこか見覚えのある鬼に、皆、くすくすっ、と笑う場面も見られました(笑)
 さあ、これでコロナも大丈夫！今年も皆にたくさんの福が訪れる事を願っています。

明るく!!



新年会 1月10日



1月10日に新年会が開催されました。毎年とても豪華な昼食となっておりますが、今年はロブスターを使ったグラタンとフライ、創作寿司の盛り合わせ、と例年よりさらに豪華になりました。利用者の皆さんもロブスターの大きさに驚きながらも舌鼓をうっていました。

レクリエーションでは「新春紅白対抗ボウリング」と銘して、女性チーム対男性チームで対決しました。利用者の皆さんはもちろん職員も一緒になって一球一球に一喜一憂しながら白熱した勝負となり、激闘の末、僅差で女性チームの勝利となりました!!

グループ旅行（日帰り）

ホテル・ロッジ舞洲 → 天王寺動物園

11月12日



今回のグループ旅行は、新型コロナウイルスの影響で時期を大幅に変更して日帰り旅行にしました。

小規模な人数で編成し、移動中の車内はもちろん、現地での感染予防にも出来る限り配慮しました。ホテル・ロッジ舞洲でのバーベキュー、天王寺動物園と行き先が決定したのも屋外で楽しんで貰えて尚且つ、ソーシャルディスタンスを保て

る環境があったからです。

バーベキューでは、森とリルのBBQフィールドで自然に囲まれながらのランチ。非日常的な楽しみの中グリルミート（焼肉）を頂きました。天王寺動物園では三密を避けるため、室内で過ごす動物の見学を避け、屋外で過ごす動物を見学しながらの散策。

外出自粛を余儀なくしていた中での、今回の日帰り旅行は、マスク越しでも隠せない笑顔が溢れ、心も体もリフレッシュが出来た旅行となったのではないのでしょうか。

11月26日



グループホームしながの舎



昨年度は、緊急事態宣言が2回発出され、予定していた年間のホームイベントは一部しか実施出来ませんでした。また、帰省や外出にも制限を設ける期間もあり、利用者の皆さんにとっては例年の生活ペースとは異なってしまいました。コロナ禍において何が出来るか？新しい生活スタイルでの楽しみは、世話人さんも一丸となって感

クリスマス会 12月23日

12月23日はクリスマス会。今年はコロナ禍での開催となりました。開催にあたりどのような形で行えばいつもと変わらないクリスマス気分を味わい、食事を美味しく頂けるかの試行錯誤でした。

クリスマスメニューはシャンパン、アワビのバター醤油ソテー、牛ヒレカツレツ、パワーサラダ、焼き立てパン等々色とりどりの豪華なフレンチコース。密を避けて皆で美味しく頂きました。デザートはイチゴのサンタさんをデコレーションしたチョコカップツリーのザ・クリスマス！



楽しく!!



お腹はいっぱいになりましたが、さらに幸せのデザートも、ペロリといただきました。

最後は、待っていましたサンタさん！みんなの部屋にプレゼントを届けに来てくれ、一同歓欣鼓舞。いつもと違う形ではありましたが、少しでも利用者の皆さんに楽しんでもらいたい気持ちで一杯のとても暖かいクリスマス会になりました（笑）

忘年会 12月17日

12月17日、忘年会！でも、これが無いと年忘れ出来ない！今年も理事の橋本先生より霜降り高級牛肉を寄贈して頂きました。卓上には「BESTFACE」と題した皆の写真集を飾り1年を振り返りながらの焼肉！これがまた何とも言えない贅沢なお味なんです（嬉）

そしてランチョンマット裏には『年末ジャンボ科長クジ』のおまけ付。豪華な景品とまではいきませんが、嬉しい笑顔はプライスレス。

また、こんな時だからこそと、皆が健康に過ごせるようにと疫病退散に効果抜群の「あまび

え様」の手製お守りをプレゼント！「なんやこれっ」って不思議そうに見ていた方もいましたが、皆を守ってくれることを願っています。



染対策を万全に行い、食事の提供の仕方や、外出も密を避けて散歩や人ごみの少ない公園に出掛けるなどの取り組みとなりました。家族のいる方については定期的に電話のやり取りを行い、利用者さんにご家族が少しでも安心して生活が送れるよう対応してきました。コロナ禍が一日も早く終息する事を願い、また新しい生活スタイルの中

で「何ができるか」を支援者一丸となって模索していきたいと思います。

追伸…恒例の「書初め会」では自分の干支を書きました。

相談室しなが

2020年度は相談支援にとっても考えさせられる年となりました。

コロナ禍において訪問や面談が出来ない事が増えました。電話での面談・様子伺いの回数を増やし、安心した生活に繋がるよう対応してきました。

利用者の皆さんが新しい仕事や生活の場を探される際など、様々な場面において行動が制限されています。福祉サービスの利用の中でも新しい生活様式を踏まえた支援・密な連携が求められる中、前向きな支援を心掛けてきました。

2021年度は、このような状況がしばらく続く事を念頭に置き、利用者の方が望む生活に近づけるようお手伝いができればと思います。



医務だより

便秘は身近な症状です。ホルモンが原因で女性に起こりやすい傾向ですが60代からは男性にもみられ、年齢とともに増加します。慢性便秘を放置すると体内に悪玉菌が増え、腐敗物質が発生し、免疫力の低下や病気のリスク状態にも繋がります。

今年は積極的に大腸内視鏡検査をお勧めしたいと思えます。今後もお通じで腸内環境を良くし、感染症に負けない腸の働きを高めながら、心身ともに健康な生活を目指します。

主任のちややき

昨年度は、コロナ感染症が猛威を振るう利用者の皆様、保護者の皆様にも大変ご迷惑、ご心配をお掛けする事がありましたがご協力頂きありがとうございました。今年度はワクチン接種も行われる見込みとなっておりますので、昨年同様感染対策（検温、うがい、手指消毒、マスク着用）を行い、支援員一同利用者の皆さんの支援に当たりたいと思っております。



編集後記

昨年から猛威を振るうコロナ。慣れない自粛生活。必要最低限なお出かけでの感染の脅威。思えば不安要素だらけでしたね。ですが、皆がコロナに一致団結し立ち向かえた誇らしい年にもなりました。今年もこうした状況だからこそ出来る事を模索し、自粛を自福に変えて楽しく送れる日々にしていきたいなと思っています。

広報担当 奥井

社会福祉法人 ^{かしょうかい} 佳松会

しなが ^{さと} 科長の郷

障害者支援施設（生活介護）

短期入所事業・日中一時支援事業

しながの ^{いえ} 舎

共同生活援助（グループホーム）

生活支援相談室しなが

基幹相談支援・計画相談支援

地域相談支援（地域移行・地域定着）・障害児相談支援

QRコードからホームページへアクセス



篤志御礼 12月～2月(敬称略順不同)

寄贈物品

岩田元夫 上原秀夫 古藤捷二 翠田収
坂上一成 松本優子 三尾美津子 舌間章二
富永達信 大内茂博 猪倉千佳 角田暁治
宮内研三 濱田美代子 岩田順子 谷由紀子
秦正湖 上田正美 今崎英治 奥井陽子
末吉美津子

春日薬局 コンフィア 三栄基準寝具
なにわや テラカド 出崎工業 奥田歯科医院
南大阪防災設備
大阪府社会福祉協議会老人施設部会
肉の松阪 わたなべ鍼灸整骨院

寄付金

米田昭 三村みのり